



# 1 統計の基礎

## 1.1 宝くじの期待値と分散

### テキスト

芳賀敏郎（2011）医薬品開発のための統計解析  
第1部 基礎 改訂版、サイエンティスト社、p.275



# 第1部 基礎

---

- 1. 統計の基礎 . . . . .
  - 1.1 宝くじの期待値と分散、1.2 サイコロの目の数の期待値と分散
  - 1.3 分散の加法性・中心極限定理・正規分布、1.4 統計的推測、1.5 モデル
- 2. 1組のデータの解析
  - 2.1 データの特徴の記述、2.2 データのグラフ表示と外れ値
  - 2.3 対数変換と対数正規分布、2.4 平均に関する推測（母標準偏差  $\sigma$  既知）
  - 2.5 分散に関する推測、2.6 平均に関する推測（母標準偏差  $\sigma$  未知）
- 3. 2組のデータの解析
  - 3.1 データのグラフ化、3.2 平均値の差の  $t$  検定、3.3 分散の違いの検定
  - 3.4 分散が異なる場合の平均値の差の比較
  - 3.5 対応のある場合の平均値の差の  $t$  検定、3.6 検出力と  $n$  の決め方
  - 3.7 ノンパラメトリック検定
- 4. 相関・回帰 . . . . .
  - 4.1 散布図、4.2 相関係数、4.3 回帰モデルとモデルの推定
  - 4.4 誤差を考慮した推定、4.5 回帰分析適用上の諸問題



## 1.3 宝くじの期待値と分散

p.7

- (1) 期待値
- (2) 分散
- (3) 標準偏差

テキストの  
該当ページ

使用するファイル

Excel ファイル「基本改1.xls」

サイエンティスト社ホームページからダウンロード

JMP 10.0.2 の出力を表示（本節では未使用）

★プレゼンテーションの  
スピーカーノートを、  
PDF の注釈に変換してあります

## (1) 期待値

## ●宝くじの事例

10,000 本の宝くじ



宝くじ 10,000枚  
番号 00001 ~ 10000

表示1.1.1 宝くじの賞金と本数

行番号 $i$	等級	賞金(円) $x_i$	本数(本) $n_i$	賞金額(円) $x_i n_i$
1	1等	10,000	10	100,000
2	2等	1,000	200	200,000
3	3等	100	4,000	400,000
4	はずれ	0	5,790	0
	合計		10,000	700,000
			$N$	$T$

# 宝くじ 1 本の価値

## ●宝くじの 1 本の価値

10,000 本の宝くじ

この中の 1 本を持っている (番号 : 00352)

10,000 円、1,000円、100 円、0 円のいずれかである

抽選前、この 1 本にはいくらの価値があると考えたらよいか

宝くじ 00352

賞金は 10,000 円?  
1,000円?  
100 円?  
0 円?



宝くじ 10,000枚  
番号 00001 ~ 10000

表示1.1.1 宝くじの賞金と本数

行番号	等級	賞金(円)	本数(本)	賞金額(円)
$i$		$x_i$	$n_i$	$x_i n_i$
1	1等	10,000	10	100,000
2	2等	1,000	200	200,000
3	3等	100	4,000	400,000
4	はずれ	0	5,790	0
	合計		10,000	700,000
			$N$	$T$

# 宝くじ 1 本の価値

## ●全部の宝くじを買い占めた場合

賞金額の合計  $T = 700,000$  円  
本数の合計  $N = 10,000$  本  
宝くじ 1 本あたりの賞金  $T/N = 700,000 / 10,000 = 70$  円

宝くじ 00352

賞金は 10,000 円？  
1,000円？  
100 円？  
0 円？



宝くじ 10,000枚  
番号 00001 ~ 10000

表示1.1.1 宝くじの賞金と本数

行番号	等級	賞金(円)	本数(本)	賞金額(円)
$i$		$x_i$	$n_i$	$x_i n_i$
1	1等	10,000	10	100,000
2	2等	1,000	200	200,000
3	3等	100	4,000	400,000
4	はずれ	0	5,790	0
	合計		10,000	700,000
			$N$	$T$

## ●全部の宝くじを買い占めた場合

賞金額の合計  $T = 700,000$  円  
本数の合計  $N = 10,000$  本  
宝くじ 1 本あたりの賞金  $T/N = 700,000 / 10,000 = 70$  円

宝くじ 00352

賞金は 10,000 円？  
1,000円？  
100 円？  
0 円？

## ●期待値

抽選前の 1 本の宝くじは、  
1 等に当たるか、はずれになるか、  
分からない  
平均的には 70 円の賞金が期待される

「この宝くじ 1 本の  
期待値 (Expectation) は 70 円」

「この宝くじの賞金  $x$  の期待値は 70 円」

表示1.1.1 宝くじの賞金と本数

行番号	等級	賞金(円)	本数(本)	賞金額(円)
$i$		$x_i$	$n_i$	$x_i n_i$
1	1等	10,000	10	100,000
2	2等	1,000	200	200,000
3	3等	100	4,000	400,000
4	はずれ	0	5,790	0
	合計		10,000	700,000
			$N$	$T$

## ●本数の合計 $N$ と賞金額の合計 $T$ の計算

$i$  等 (1~4 等) の賞金  $x_i$ 、本数  $n_i$  としたときの、本数の合計  $N$ 、賞金額の合計  $T$

$$\begin{aligned}
 N &= n_1 + n_2 + n_3 + n_4 && (1.1.1) \\
 &= 10 + 200 + 400 + 5790 \\
 &= 10000
 \end{aligned}$$

添え字  $i$  は行番号に対応  
1~4 まで変化

$$\begin{aligned}
 T &= x_1 n_1 + x_2 n_2 + x_3 n_3 + x_4 n_4 && (1.1.1) \\
 &= 10000 \times 10 + 1000 \times 200 \\
 &\quad + 100 \times 4000 + 0 \times 5790 \\
 &= 700000
 \end{aligned}$$

添え字  $i$  は行番号に対応  
1~4 まで変化

表示1.1.1 宝くじの賞金と本数

行番号	等級	賞金(円)	本数(本)	賞金額(円)
$i$		$x_i$	$n_i$	$x_i n_i$
1	1等	10,000	10	100,000
2	2等	1,000	200	200,000
3	3等	100	4,000	400,000
4	はずれ	0	5,790	0
	合計		10,000	700,000
			$N$	$T$

## ●本数の合計 $N$ と賞金額の合計 $T$ の計算

$i$  等 (1~4 等) の賞金  $x_i$ 、本数  $n_i$  としたときの、本数の合計  $N$ 、賞金額の合計  $T$

$$\begin{aligned}
 N &= n_1 + n_2 + n_3 + n_4 \\
 &= 10 + 200 + 400 + 5790 \\
 &= 10000
 \end{aligned}
 \tag{1.1.1}$$

$$\begin{aligned}
 T &= x_1 n_1 + x_2 n_2 + x_3 n_3 + x_4 n_4 \\
 &= 10000 \times 10 + 1000 \times 200 \\
 &\quad + 100 \times 4000 + 0 \times 5790 \\
 &= 700000
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 x_1 &= 10000 \\
 x_2 &= 1000 \\
 x_3 &= 100 \\
 x_4 &= 0
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 n_1 &= 10 \\
 n_2 &= 200 \\
 n_3 &= 4000 \\
 n_4 &= 5790
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 x_1 n_1 &= 10000 \times 10 \\
 x_2 n_2 &= 1000 \times 200 \\
 x_3 n_3 &= 100 \times 4000 \\
 x_4 n_4 &= 0 \times 5790
 \end{aligned}$$

表示1.1.1 宝くじの賞金と本数

行番号	等級	賞金(円)	本数(本)	賞金額(円)
$i$		$x_i$	$n_i$	$x_i n_i$
1	1等	10,000	10	100,000
2	2等	1,000	200	200,000
3	3等	100	4,000	400,000
4	はずれ	0	5,790	0
	合計		10,000 $N$	700,000 $T$

## ●本数の合計 $N$ と賞金額の合計 $T$ の計算

$i$  等 (1~4 等) の賞金  $x_i$ 、本数  $n_i$  としたときの、本数の合計  $N$ 、賞金額の合計  $T$

$$N = n_1 + n_2 + n_3 + n_4 = \sum_{i=1}^4 n_i \quad (1.1.2)$$

$$T = x_1 n_1 + x_2 n_2 + x_3 n_3 + x_4 n_4 = \sum_{i=1}^4 x_i n_i$$

$\Sigma$  (シグマ) : 総和 (summation)  
 $i$  を 1, 2, 3, 4 と変えて加える

「この宝くじ 1 本の期待値は 70 円」

$$\frac{T}{N} = \frac{\sum_{i=1}^4 x_i n_i}{\sum_{i=1}^4 n_i} = 70$$

表示1.1.1 宝くじの賞金と本数

行番号	等級	賞金(円)	本数(本)	賞金額(円)
$i$		$x_i$	$n_i$	$x_i n_i$
1	1等	10,000	10	100,000
2	2等	1,000	200	200,000
3	3等	100	4,000	400,000
4	はずれ	0	5,790	0
	合計		10,000 $N$	700,000 $T$

## ● 期待値の計算

Expectation の頭文字

$i$  等 (1~ $m$  等) の賞金  $x_i$ 、本数  $n_i$  としたときの、賞金  $x$  の期待値  $E[x]$

$$N = \sum_{i=1}^m n_i$$

4 を  $m$  に拡大

(1.1.2)

$$T = \sum_{i=1}^m x_i n_i$$

$$E[x] = \frac{T}{N} = \frac{\sum_{i=1}^m x_i n_i}{\sum_{i=1}^m n_i} \quad (1.1.3)$$

$$E[x] = \frac{T}{N} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^m (x_i n_i) = \sum_{i=1}^m \left( x_i \frac{n_i}{N} \right) \quad (1.1.4)$$

$N$  は  $i$  に関わらず一定 : 定数

$i$  等の確率  
 $\frac{n_i}{N} = \pi_i$

積の合計を  $N$  (定数) で割る代わりに  
個々の等級の本数  $n_i$  を  $N$  で割る

$$= \sum_{i=1}^m x_i \pi_i$$

## ●期待値の計算

$$E[x] = \sum_{i=1}^m x_i \pi_i \quad (1.1.4)$$

$$= 10000 \times \frac{10}{10000} + 1000 \times \frac{200}{10000} + 100 \times \frac{4000}{10000} + 0 \times \frac{5790}{10000}$$

$$= 10 + 20 + 40 + 0$$

$$= 70$$

1等の場合

$$\pi_1 = 10/10000 = 0.001$$

0.1%の割合で1等になる

賞金  $x$  の期待値  $E[x]$  は  
各賞金  $x_i$  と  
その確率  $\pi_i$  の積の和

$i$  等の確率  
 $\frac{n_i}{N} = \pi_i$

表示1.1.2 期待値の計算(1)

	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

14行目

=B14\*C14

=C14/C\$18

=B14\*E14

18行目

=SUM(C14:C17)

=SUM(D14:D17)

=SUM(E14:E17)

=SUM(F14:F17)

## ●期待値の計算

賞金  $x$  の期待値  $E[x]$  は、各賞金  $x_i$  とその確率  $\pi_i$  の積の和

賞金  $x$  の期待値  $E[x]$  は  
各賞金  $x_i$  と  
その確率  $\pi_i$  の積の和

確率  $\pi_i$  の合計は 1 になる

$$\begin{aligned} \sum_{i=1}^m \pi_i &= \sum_{i=1}^m \frac{n_i}{N} \\ &= \frac{1}{N} \sum_{i=1}^m n_i \\ &= \frac{N}{N} \\ &= 1 \end{aligned}$$

確率  $\pi_i$  の合計は 1

表示1.1.2 期待値の計算(1)

	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

14行目

=B14\*C14

=C14/C\$18

=B14\*E14

18行目

=SUM(C14:C17)

=SUM(D14:D17)

=SUM(E14:E17)

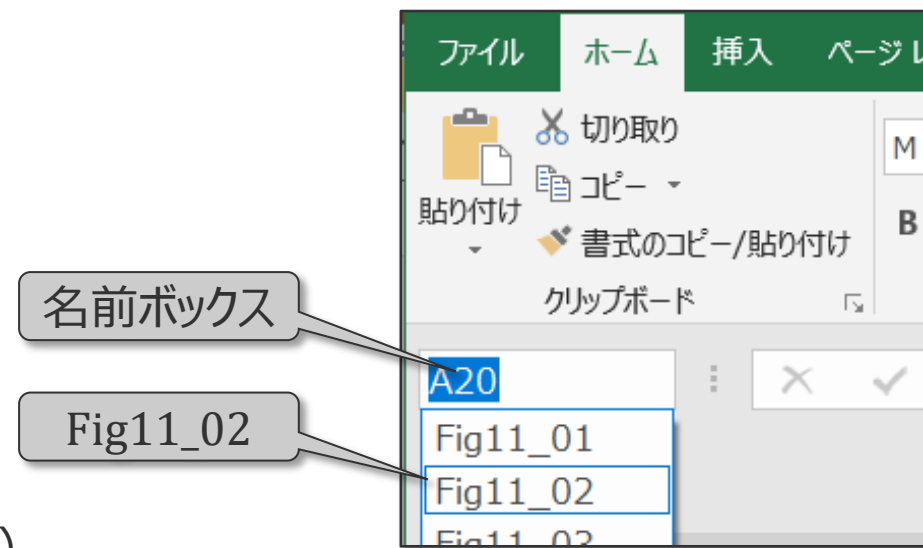
=SUM(F14:F17)

## ●Excel のセル

Excelファイル「基本改1.xls」の読み込み  
 名前ボックスで「Fig11\_2」を選択、表示1.1.2 に移動

セルの表示・・・列の文字+行の番号

セル範囲の表示・・・範囲の左上隅のセル：右下隅のセル



表示1.1.2 期待値の計算(1)

期待値  $E[x] = 70$  が計算される  
 過程を理解する

セル範囲  
B14:C17

セル  
F18

	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

18行目  
 $=SUM(C14:C17)$      $=SUM(D14:D17)$      $=SUM(E14:E17)$      $=SUM(F14:F17)$

# Excel を使った期待値の計算

## ●A列, B列, C列の計算式

A列: 文字列

計算に用いられない

B列: 宝くじの賞金  $x_i$

C列: 宝くじの本数  $n_i$

C18: 本数の合計  $T$ 、SUM 関数を入力

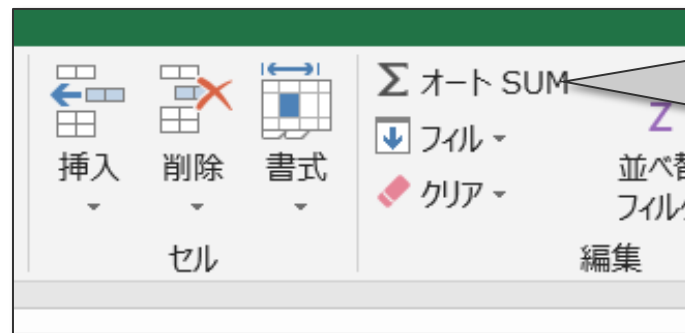
「=sum(」を入力後

C14 から C17 まで選択

Enter キーをクリック

計算表

計算式の説明



セル C18 を選択して  
「オートSUMボタン」をクリック  
C14 のセルをクリックし、  
C17 までドラッグ、Enterキー  
p.9 脚注 p.184 参照

セルC18: =SUM(C14:C17)  
p.69参照

表示1.1.2 期待値の計算(1)

	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

14行目

18行目

=B14\*C14

=SUM(C14:C17)

=SUM(D14:D17)

=C14/C\$18

=SUM(E14:E17)

=B14\*E14

=SUM(F14:F17)

## ● D 列の計算式

D 列：賞金  $x_i$  と本数  $n_i$  の積  
(賞金額)

D18：賞金  $x_i$  と本数  $n_i$  の積の和  
SUM 関数を入力

賞金	本数	
$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$
10,000	10	=B14*C14
1,000	200	
100	4,000	

D14 を選択、以下の順に入力  
“=”, B14 をクリック, “\*”,  
C14 をクリック, Enter キー

セルD14 :  
=B14\*C14

表示1.1.2 期待値の計算(1)

	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

14行目

=B14\*C14

=C14/C\$18

=B14\*E14

18行目 =SUM(C14:C17)

=SUM(D14:D17)

=SUM(E14:E17)

=SUM(F14:F17)

# Excel を使った期待値の計算

## ● D 列の計算式

セル D14 に式を入力  
オートフィルでセル D14  
を D15:D17 にコピー  
オートフィル機能を利用

$=B14*C14$

D14に式を入力後  
D14 を選択して「+マーク」を下にドラッグ  
オートフィル機能  
p.12参照

$=B14*C14$  元の数式  
 $=B15*C15$   
 $=B16*C16$  } 自動的に変化  
 $=B17*C17$

表示1.1.2 期待値の計算(1)

	A	B	C	D		F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

14行目  $=B14*C14$   $=C14/C\$18$   $=B14*E14$   
 18行目  $=SUM(C14:C17)$   $=SUM(D14:D17)$   $=SUM(E14:E17)$   $=SUM(F14:F17)$

# Excel を使った期待値の計算

## ● E 列の計算式

E列：等級ごとの確率  $\pi_i$

セル E14に “=E14/C\$18” を入力 (F4 キーを利用)

E14 に入力した式を、D 列と同様に、E15~E17 にコピー  
(オートフィル機能を利用)

C18 の「18」を固定するために C\$18 とする (「\$マーク」に注目)

表示1.1.2 期待値の計算(1)

	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

=C14/C18  
=C15/C19  
=C16/C20  
=C17/C21  
ではない

=C14/C\$18  
=C15/C\$18  
=C16/C\$18  
=C17/C\$18

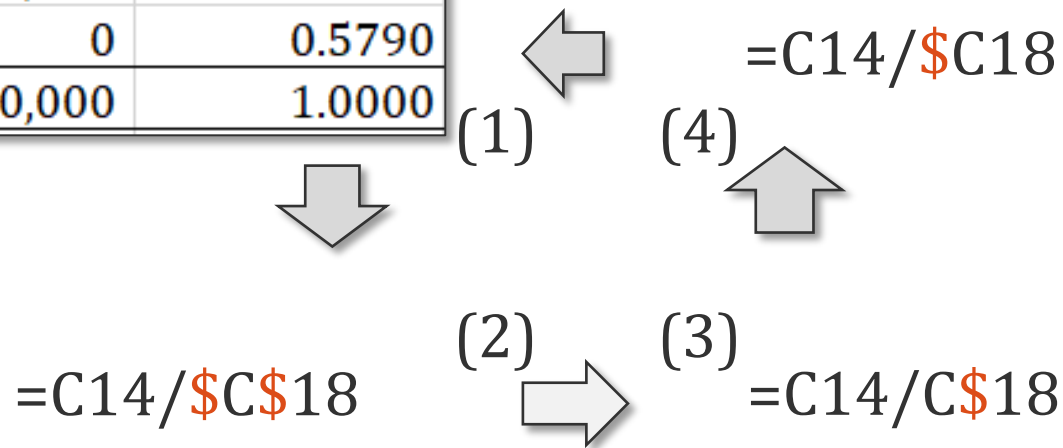
Excel を上手に使いこなすには  
「\$」マークを適切に用いる  
技術が必須 (絶対参照)

14行目  $=B14 * C14$   $=C14 / C\$18$   $=B14 * E14$   
18行目  $=SUM(C14:C17)$   $=SUM(D14:D17)$   $=SUM(E14:E17)$   $=SUM(F14:F17)$

- F4 キーの利用  
絶対参照の指定

本数		確率
$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$
10	100,000	=C14/C18
200	200,000	0.0200
4,000	400,000	0.4000
5,790	0	0.5790
10,000	700,000	1.0000

セルE14 は、以下の順序で入力  
“=”、セルC14 をクリック、“/”、セルC18 をクリック、  
F4 キーを押すたびに(1), (2), (3), (4), (1)・・・に変化  
今回は (3) の状態で Enter キーを押す (p.80 参照)



# Excel を使った期待値の計算

## ● F 列の入力

F列：賞金  $x_i$  と確率  $\pi_i$  の積

D 列と同様に入力

F14 に式を入力後、

F14 を選択して+マークを下にドラッグ  
(オートフィル機能を利用)

確率	
$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
0.0010	10
0.0200	
0.4000	
0.5790	

オートフィル機能

表示1.1.2 期待値の計算(1)

	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

14行目

=B14\*C14

=C14/C\$18

=B14\*E14

18行目

=SUM(C14:C17)

=SUM(D14:D17)

=SUM(E14:E17)

=SUM(F14:F17)

## ●18 行の入力

18行：各列の合計

D 列と同様に入力

C18 は、既に式が入力済み。

C18 を選択して+マークを右にドラッグ

(オートフィル機能を利用)

10	4,000	400,000	0.4000	40
0	5,790	0	0.5790	0
	10,000			

オートフィル機能

表示1.1.2 期待値の計算(1)

F18 に期待値  $E[x]$  が表示

	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

14行目  $=B14 * C14$   $=C14 / C\$18$   $=B14 * E14$

18行目  $=SUM(C14:C17)$   $=SUM(D14:D17)$   $=SUM(E14:E17)$   $=SUM(F14:F17)$

## 実習

Excelファイルで、表示1.1.2のセルの内容を一部消去  
セル範囲を指定、右クリック、[数式と値のクリア]を選択  
or [Del]キー

自分で数式を入力して再現

「数式と値のクリア」で  
セルの内容を消去  
自分で数式を入力して再現



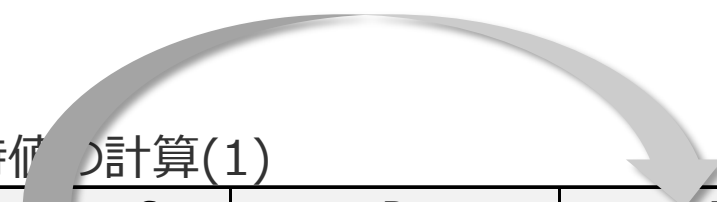
表示1.1.2 期待値の計算(1)

	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数			確率
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$		$\pi_i$
14	1等	10,000	10			
15	2等	1,000	200			
16	3等	100	4,000			
17	はずれ	0	5,790			
18	合計					

## ●確率変数と確率分布

変数  $x$  (賞金) の取りうる個々の値  $x_i$  に対して確率  $\pi_i$  が対応づけられている  
この対応関係を  $x$  の「確率分布」という  
変数  $x$  を「確率変数」という

表示1.1.2 期待値の計算(1)

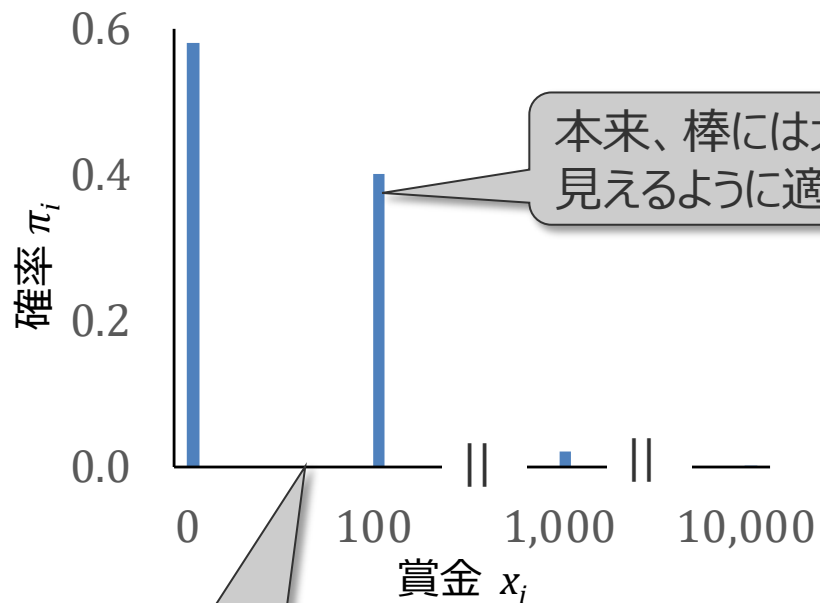


	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

14行目  $=B14 * C14$   $=C14 / C\$18$   $=B14 * E14$

18行目  $=SUM(C14:C17)$   $=SUM(D14:D17)$   $=SUM(E14:E17)$   $=SUM(F14:F17)$

# 確率変数と確率分布



期待値は 70

変数 (賞金)  $x$  は、0, 100, 1000, 10000 の値を取る確率変数

それぞれの値を取る確率が決まっている

変数 (賞金)  $x$  の期待値は 70

表示1.1.2 期待値の計算(1)

	A	B	C	D	E	F
12	等級	賞金	本数		確率	
13	$i$	$x_i$	$n_i$	$x_i * n_i$	$\pi_i$	$x_i * \pi_i$
14	1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
15	2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
16	3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
17	はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
18	合計		10,000	700,000	1.0000	70

14行目  $\text{=B14*C14}$   $\text{=C14/C\$18}$   $\text{=B14*E14}$

18行目  $\text{=SUM(C14:C17)}$   $\text{=SUM(D14:D17)}$   $\text{=SUM(E14:E17)}$   $\text{=SUM(F14:F17)}$

## (2) 分散

## ● 2種類の宝くじのばらつきを比較

表示1.1.2  
期待値の計算  
(1)

級等 $i$	賞金 $x_i$	本数 $n_i$	$x_i * n_i$	確率 $\pi_i$	$x_i * \pi_i$
1等	10,000	10	100,000	0.0010	10
2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
はずれ	0	5,790	0	0.5790	0
合計		10,000	700,000	1.0000	70

↓ 1等の賞金が10倍の100,000円、残り9本が外れ

表示1.1.3  
期待値の計算  
(2)

等級 $i$	賞金 $x_i$	本数 $n_i$	$x_i * n_i$	確率 $\pi_i$	$x_i * \pi_i$
1等	100,000	1	100,000	0.0001	10
2等	1,000	200	200,000	0.0200	20
3等	100	4,000	400,000	0.4000	40
はずれ	0	5,799	0	0.5799	0
合計		10,000	700,000	1.0000	70

賞金	本数	
	表示1.1.2	表示1.1.3
100,000		1
10,000	10	
1,000	200	200
100	4,000	4,000
0	5,790	5,799
計	10,000	10,000

表示1.1.3の方が

当たり外れの差が大きい

→ ばらつきが大きい

これを定量的に表したい

## ●偏差

偏差：各値と期待値との差（期待値に対してどれだけ偏っているか）

$$d_i = x_i - E[x] \quad d_1 = x_1 - E[x] = 10,000 - 70 = 9930$$

ばらつきが大きいと、当然、偏差が大きくなることは想像される

## ●偏差の期待値

偏差の期待値は

それぞれの偏差とその確率の積の和

$$E[d] = \sum_{i=1}^m (d_i \pi_i)$$

$$E[x] = \sum_{i=1}^m (x_i \pi_i) \quad (1.1.4)$$

表示1.1.4 偏差の期待値の計算

等級 $i$	賞金 $x_i$	本数 $n_i$	偏差 $d_i$	確率 $\pi_i$	$d_i * \pi_i$
1等	10,000	10	9,930	0.0010	9.93
2等	1,000	200	930	0.0200	18.60
3等	100	4,000	30	0.4000	12.00
はずれ	0	5,790	-70	0.5790	-40.53
合計	0	10,000		1.0000	0.00

確率  $\pi_i$  の計

偏差の期待値

## ●偏差

偏差：各値と期待値との差（期待値に対してどれだけ偏っているか）

$$d_i = x_i - E[x] \quad d_1 = x_1 - E[x] = 10,000 - 70 = 9930$$

ばらつきが大きいと、当然、偏差が大きくなることは想像される

## ●偏差の期待値

$$\begin{aligned} E[d] &= \sum_{i=1}^m (d_i \pi_i) \\ &= \sum_{i=1}^m (x_i - E[x]) \pi_i \\ &= \sum_{i=1}^m (x_i \pi_i) - E[x] \sum_{i=1}^m \pi_i \\ &= E[x] - E[x] \times 1 = 0 \end{aligned}$$

表示1.1.4 偏差の期待値の計算

等級 $i$	賞金 $x_i$	本数 $n_i$	偏差 $d_i$	確率 $\pi_i$	$d_i * \pi_i$
1等	10,000	10	9,930	0.0010	9.93
2等	1,000	200	930	0.0200	18.60
3等	100	4,000	30	0.4000	12.00
はずれ	0	5,790	-70	0.5790	-40.53
合計	0	10,000		1.0000	0.00

確率  $\pi_i$  の計

偏差の期待値

## ● 偏差の期待値

偏差の期待値では「ばつらき」の大きさを定量化できない  
 偏差には正負の符号があって、打消し合ってしまう

## ● 偏差の2乗の期待値：確率変数の分散

偏差の2乗の期待値 → 分散 (Variance)

$$V[x] = E[d^2] = \sum_{i=1}^m (d_i^2 \pi_i) \quad (1.1.5)$$

表示 1.1.5 分散の計算 (一部)

級等 $i$	賞金 $x_i$	本数 $n_i$	偏差 $d_i$	確率 $\pi_i$	$d_i * \pi_i$	$d_i^2 * \pi_i$
1等	<b>10,000</b>	<b>10</b>	9,930	<b>0.0010</b>	9.93	<b>98,605</b>
(1) 2等	1,000	200	930	0.0200	18.60	17,298
3等	100	4,000	30	0.4000	12.00	360
はずれ	0	<b>5,790</b>	-70	<b>0.5790</b>	-40.53	<b>2,837</b>
合計	0	10,000		1.0000	0.00	<b>119,100</b>

偏差の期待値

偏差の2乗の期待値

## ●分散の比較

宝くじ (2) の分散は宝くじ (1) の分散の約 8 倍  $1,019,100 / 119,100 = 8.6$   
 分散はばらつきの指標になる

表示 1.1.5 分散の計算

級等	賞金	本数	偏差	確率		
$i$	$x_i$	$n_i$	$d_i$	$\pi_i$	$d_i * \pi_i$	$d_i^2 * \pi_i$
(1)	1等	10	9,930	0.0010	9.93	98,605
	2等	200	930	0.0200	18.60	17,298
	3等	4,000	30	0.4000	12.00	360
	はずれ	5,790	-70	0.5790	-40.53	2,837
合計	0	10,000		1.0000	0.00	119,100
(2)	1等	1	99,930	0.0001	9.99	998,600
	2等	200	930	0.0200	18.60	17,298
	3等	4,000	30	0.4000	12.00	360
	はずれ	5,799	-70	0.5799	-40.59	2,842
合計	0	10,000		1.0000	0.00	1,019,100

### (3) 標準偏差



## ●分散と標準偏差

分散（偏差の2乗の期待値）の単位は 円<sup>2</sup>

元の単位に戻すために分散の平方根をとる → 標準偏差（Standard Deviation）  $D[x]$

$$V[x] = E[d^2] = \sum_{i=1}^m (d_i^2 \pi_i) \quad (1.1.5)$$

$$D[x] = \sqrt{V[x]} \quad (1.1.6)$$

表示 1.1.2 (1)  $D[x] = \sqrt{119100} = 345$  円

表示 1.1.3 (2)  $D[x] = \sqrt{1019100} = 1010$  円

約3倍の違いがある

## ● 期待値、分散、標準偏差

期待値 (Expectation)

$$E[x] = \sum_{i=1}^m x_i \pi_i \quad \frac{n_i}{N} = \pi_i$$

(1.1.4)

確率変数の期待値  
(確率変数×確率) の和

分散 (Variance)

$$V[x] = E[d^2] = \sum_{i=1}^m (d_i^2 \pi_i) \quad d_i = x_i - E[x]$$

(1.1.5)

確率変数の偏差の2乗の期待値  
(偏差の2乗×確率) の和

標準偏差 (Standard Deviation)

$$D[x] = \sqrt{V[x]}$$

(1.1.6)

分散の平方根

- 宝くじの例から、期待値、分散、標準偏差を導いた

これらは、統計の中で、極めて重要

- どのような確率分布であっても、

確率変数  $x$  の期待値は確率変数  $x$  の分布における位置を示す指標

確率変数  $x$  の分散、標準偏差は、分布における「ばらつき」の指標

- この節で理解が不十分でも、次節以降で理解が進む

再度、この節を読み返すことにより理解が深まる



- 作成 片瀬雅彦
- 監修 松本一彦、長谷文雄
- 作成時期 2018年8月21日
- 改訂 2019年3月18日、2024年7月14日